

6月9日にSPS認証1周年を迎えました。今年度は、6月を学校安全推進月間として、安全に関する取り組みや訓練の実施を行いました。今回は、その取り組みについてお知らせします。

5月・6月の取り組み

5月27日(月)	大阪教育大学附属池田小学校 第1回公開不審者対応訓練参加
6月7日(金)	SPS認証校 京都市立養徳小学校「HANAモデル」視察
10日(月)	不審者対応訓練 (警察署、市民安全部)
13日(木)	緊急時対応訓練 水難 ※放課後 (消防署)
20日(木)	小野市学校安全実践委員会、推進委員会参加(推進計画 説明)
21日(金)	児童生徒搜索訓練 ※放課後 (警察署、市民安全部、近隣施設) 京都市立養徳小学校 公開緊急時対応実地訓練「HANAモデル」視察
26日(水)	避難所設営訓練 (小野市立ひまわり園と合同)
28日(金)	火災避難訓練 (消防署)

<不審者対応訓練> (小野警察署)

6月10日(月)に、不審者対応訓練を行いました。事前学習では、不審者の怖さと、「いかのおすし」の合言葉に基づき、スライドとロールプレイで遭遇した時の対応方法を学びました。学校に侵入

いか：ついて「**い**」かない
の：人の車に「**の**」らない
お：「助けて」と「**お**」お声をだす
す：安全な場所へ「**す**」ぐ逃げる
し：周りの人にすぐ「**し**」らせる



した場合は、教室をロックし、バリケードを作り入れられないようにする、静かに物音を立てないように過ごすよう説明しました。実際の訓練では、児童生徒は先生方の話をよく聞き、安全に教室で待機、避難出来ました。

教職員は、初期対応班の距離やさすまたの使い方、応援、救急班の動き等、警察の方から助言をいただきました。その後、全員で役割ごとに協議し、学校安全推進委員会や生活安全チームで、助言・反省をもとに対応の改善について協議しました。より安全に組織的で安全な対応ができる体制づくりにつなげることができました。



<避難所設営訓練> (ひまわり園と合同)

6月26日(水)に、小野市立ひまわり園と合同で避難所設営訓練を行いました。

実際の避難所を想定して、知らない人がいる多くの人の中でパーティション立て、段ボールベッドづくりをして避難所をつくり学級ごとに過ごしました。子ども達は、これまでの経験を活かし、慣れた手つきで組み立て、リラックスして過ごすことができました。



<火災避難訓練> (小野市消防本部)

6月28日(金)に、火災時の避難訓練を実施しました。

事前学習では、火災の予防や避難時の「おはしも」を全校生で確認しました。

訓練当日は、火災発生の放送から児童生徒は、先生方の指示や話をよく聞いて安全に避難することができました。

職員も、児童生徒避難誘導初期消火や救護等、速やかに自分の役割を遂行し組織的に対応することができました。



『お』： 押さない
『は』： 走らない
『し』： しゃべらない
『も』： 戻らない



<緊急時対応訓練(水難)> (小野市消防本部)

6月13日(木)の放課後に、プールでの水難事故を想定した緊急時対応訓練を実施しました。水泳学習中に溺れた生徒を救助できるよう、1秒でも迅速に対応し、適切な処置ができるかを目的に訓練に臨みました。今回は、救急要請と共にライブ119を用いて、現場と救急隊とリアルタイムでつなぎ、対応を行いました。また、今回はipadを使用して本部への連絡を行いましたが、動きの中で情報を入れ続けるのは難しく、トランシーバーの必要性を感じ、訓練後に本校にトランシーバーを導入しました。

訓練後、救急隊の方から助言や職員の反省をもとに、緊急時の対応について、重要なことを全職員で共通理解することができました。



<児童生徒搜索訓練> (市民安全部 地域安全グループ)

6月21日(金)に、児童生徒が行方不明になった事態を想定して児童生徒搜索訓練を行いました。行方不明に気づいてから校内・校外の搜索を、時間経過、事前の状況より本部が判断し、児童生徒支援を段階的に少ない人数で支援を減らし、搜索に回る人員を増やし、体制を強化していきました。実際に、どこに行ったかは、搜索者はわからず、本部に集まってきた情報をもとに搜索を進めました。実際に起きた際に連携できるように、近隣の小・中学校や施設等にも協力を依頼して行いました。児童生徒の支援体制を確実に安全に変更し、いかに搜索に人員を増やすことができるか、搜索班は、いかに本部に情報を提供し、組織的に連携できるかが重要になってくることを、教職員みんなで共通理解することができました。



訓練における初期対応の工夫

- ① 「校内放送の工夫」緊急有事や災害が起きたこと、起きた場所をいち早く知らせるために、**コードで知らせる。**
例)火災発生⇒「コード、レッド〇〇室」、水難事故⇒「コードブルー、プール」等
- ② コードと場所を聞いたら、まず現場に急行する役割の**「GOGO班」の設置。**
1秒でも早く対応できるように、すぐ動く人員を確保する。